

Hospital & Clinic

「4月1日から院長に就任し、スタッフ間の連携の良さに助けられている」。

院長 訪問

感染症の感染拡大が続くなか、多くの陽性患者を受け入れている。「厳しい状況が続くなかで診療科、部署を越えてスタッフが助け合えることができています」。



「コロナは、病院経営にさまざまな影響を及ぼしている。アフターコロナを見据え、経営基盤の強化を図り、高度急性期病院として地域を支えていきたいと考えた。さらに、最良の医療とは何か、スタッフ同士が率直に議論できる風土づくりを」。

率直に議論できる風土へ

「患者や地域だけでなく、職員」。

「4月1日から院長に就任し、スタッフ間の連携の良さに助けられている」。

No.2189
手稲溪仁会病院

古田 康院長

保険総合病院、浦河赤十字病院、苫小牧市立病院、市立6年間、副院長として、開院当初から、創設総合病院など地域病院経営を補佐してきた。基幹病院で研鑽を積んだ。

2016年からは、新型コロナウイルス 月2回、病院経営を前田1条1丁目

